

令和4年度

武雄市教育委員会点検評価報告書

(令和3年度分)

武雄市教育委員会

はじめに

武雄市教育委員会では、武雄市教育の現状と課題や、武雄市教育大綱「組む」の基本指針を踏まえ、「武雄市の教育」の基本目標として、

「乳幼児期からの子どもたちの知・徳・体を高く調和させる教育の推進」

「市民一人ひとりの生きがいを高める生涯学習の推進」

「明日につながる伝統文化の継承と多彩な文化の創造」

「豊かな学びを支える教育環境と子育て環境の整備」

「郷土愛の醸成と協働する市民総参加による教育の推進」

の5つを掲げ、各種の事務事業に取り組んできました。

一方、教育委員会が効果的な教育行政を推進していくためには、自らの活動を点検・評価し、公表することが重要です。

このため、平成19年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成20年度から毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理執行状況について、点検及び評価を行い、その結果を報告書として、議会に提出するとともに、市民の皆様へ公表することとされています。

これを受けて教育委員会では、令和3年度に実施した各種の事務事業が効率的かつ、有効的に行なわれてきたかを点検・評価し、課題や取り組みの方向性について、点検評価報告書としてまとめました。

この点検・評価結果を、市民の皆様へ公表するとともに、今後の武雄市教育行政の一層の充実、推進へとつなげていきたいと考えています。

皆様のご理解ご協力を宜しくお願い申し上げます。

令和4年9月

武雄市教育委員会

＜ 目 次 ＞

1 点検・評価に当たって	2
・令和3年度武雄市の教育 施策の体系	3
2 令和3年度の具体的施策、評価委員からの指摘事項・ご意見	
・意見書	4
・基本目標Ⅰ 乳幼児期からの子どもたちの 知・徳・体を高く調和させる教育の推進	7
・基本目標Ⅱ 市民一人ひとりの生きがいを高める生涯学習の推進	10
・基本目標Ⅲ 明日につながる伝統文化の継承と多彩な文化の創造	12
・基本目標Ⅳ 豊かな学びを支える教育環境と子育て環境の整備	13
・基本目標Ⅴ 郷土愛の醸成と協働する市民総参加による教育の推進	15

1 点検・評価に当たって

1 点検評価の対象

今回実施した点検評価の対象は、令和3年度武雄市の教育基本方針に基づき実施した学校教育関係、子育て関係、生涯学習関係、歴史・文化関係及び地域との連携等の各種事務事業を対象としました。

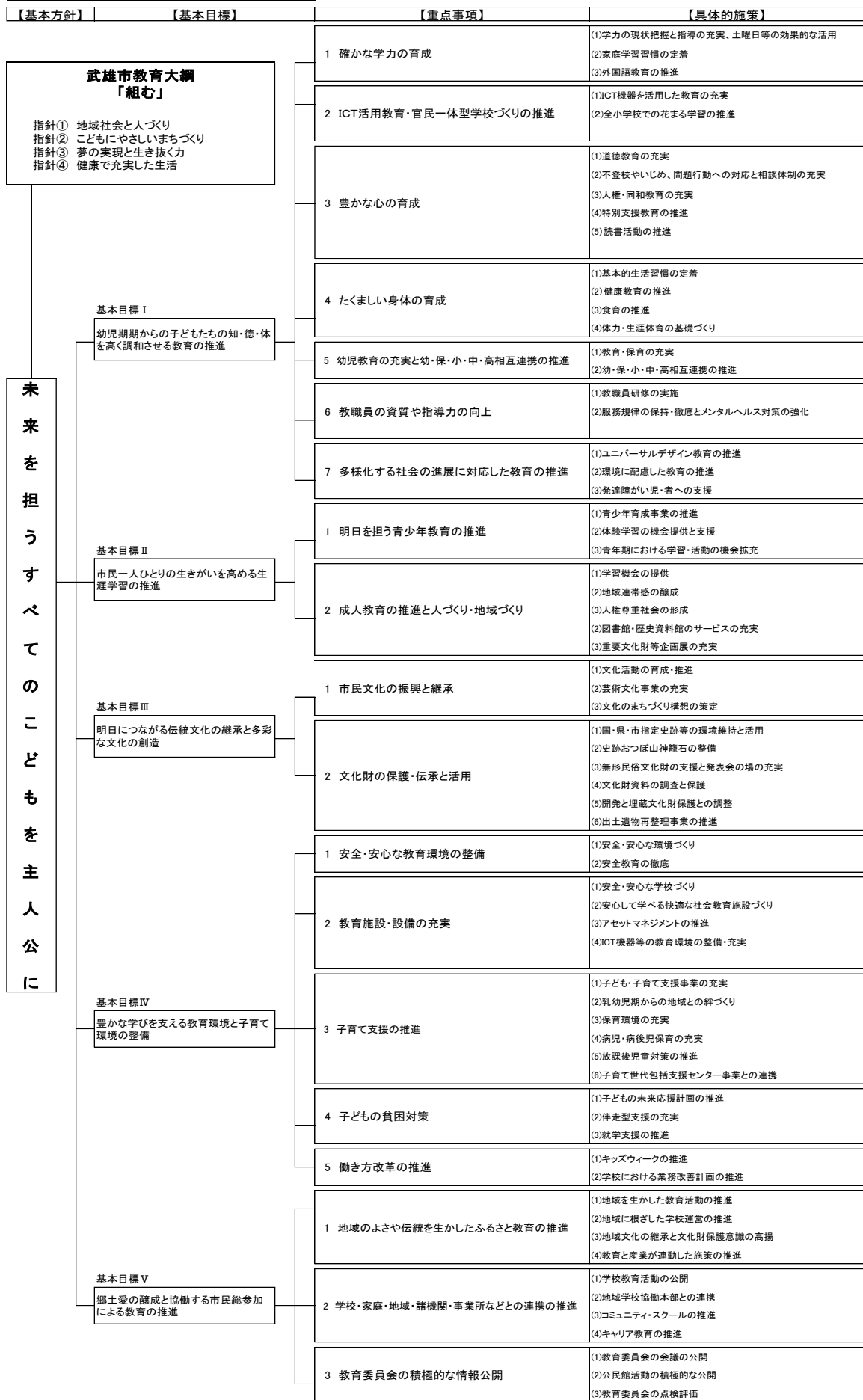
2 点検評価の方法

- (1) 点検評価に際しては、必要性、効率性、有効性、公平性等の観点から分析し、課題や問題点、今後の改善点について示すこととしました。
- (2) 点検評価に際し、その客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方など5人で構成する教育委員会評価委員会を設け、様々なご意見、助言をいただきました。

評価委員会委員の方々は、次のとおりです。

委員長	松 尾 敏 実
副委員長	江 越 勝 幸
委員	松 尾 政 勲
委員	馬 場 桂 子
委員	下 村 恵美子
(順不同、敬称略)	

R3 武雄市の教育 施策の体系



意 見 書

武雄市教育委員会は、令和３年度武雄市教育の基本方針として、子どもたちの生き抜く力を育むとともに、進展する社会に創意を凝らして対応し、文化の創造や産業の振興など社会や地域の発展に貢献できうる心身ともにたくましい市民の育成を目指して、５つの基本目標を掲げ、諸施策に取り組んで来られました。

本意見書は、武雄市教育委員会が令和３年度に実施した教育委員会活動及び事務事業の自己点検・自己評価結果について、「武雄市教育委員会点検・評価シート」及び関連資料に基づいて、武雄市教育委員会評価委員会が評価したものです。

具体的には、令和４年７月８日、２２日及び８月５日の３回にわたり評価委員会を開催し、事務事業の目標、自己点検・自己評価の視点や方法の適切さ、目標の達成度に対する自己評価の適切さ、課題、改善策等について検討を行いました。

その結果、評価委員会としての諸施策の評価は、目標に対し達成していると判断しました。個々の事業に対しては、若干の意見を付していますので、今後の改善の参考にしてください。

また、武雄市教育委員会においては、教育・保育施設、学校、家庭、地域の教育力の向上を図り、社会全体で教育的風土の醸成を図るため、様々な事業が展開されており、コロナ禍にあっても創意工夫がなされ、事業実施に向けて努力されている様子がよくわかりました。その上で、今後、更なる施策の充実を図るため、次の点に留意していただくようお願いします。

- 児童生徒の「確かな学力の育成」については、継続して学習状況調査の結果を分析し、指導の充実に努めてください。また、ＩＣＴ活用教育については「ＧＩＧＡスクール構想」に先駆け、児童生徒に１人１台の学習用端末が導入されていますが、今後、更に学力の向上や個別最適な教育の実現に向けて効果的な活用方法を研究するなど、さらに推進してください。
- 官民一体型学校の推進については、事業がスタートしてから一定の期間が経過しており、これまで児童の学びや地域の教育力の活用などで成果もあるようですが、一方で学習指導要領の改訂やタブレット端末の導入など教育環境も変わっており、学校現場の意見はどうか、学校教育の中で有効に機能しているのかなどの検証も今後必要であると考えています。
- 不登校対策については、学校と関係機関等との連携やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用などによりきめ細かく取り組まれています。が、不登校者数が増加傾向にあることから、引き続き対策の充実に取り組んでください。
- 子どもの安全・安心について、学校や地域との連携による子どもたちの見守り活動や防災教育の実施など、引き続き子どもの安全・安心について積極的に取り組んでください。

- 教職員の働き方改革については、各学校でも工夫しながら取り組まれています
が、引き続き取り組みを進め、学校教育の充実を図ってください。
- 次世代を担う子どもたちが、環境に左右されることなく、どの子も教育機会の
均等が図られるよう、福祉分野との連携など市全体としてより一層継続的な支援
に取り組んでください。
- すべての市民に学びの機会を提供し、多様な地域の文化や歴史を活用しながら、
豊かで、郷土愛の醸成につながるよう引き続き事業の推進に努めてください。

教育行政を取り巻く環境は、日々変化しています。武雄市教育委員会が、教育行政
を取り巻く環境の変化を的確に把握するとともに、今回実施した点検・評価を踏まえ、
今後の武雄市教育行政の一層の充実・発展に取り組まれることを願っています。

令和4年8月5日

武雄市教育委員会
教育長 松尾 文雄 様

武雄市教育委員会評価委員会
委員長 松尾 敏実

教育委員会評価及び評価委員評価一覧表（令和３年度）

項 目		評価委員 評価
I－１	確かな学力の育成	A
I－２	I C T活用教育・官民一体型学校づくりの推進	A
I－３	豊かな心の育成	A
I－４	たくましい身体の育成	A
I－５	幼児教育の充実と幼・保・小・中・高相互連携の推進	A
I－６	教職員の資質や指導力の向上	A
I－７	多様化する社会の進展に対応した教育の推進	A
II－１	明日を担う青少年教育の推進	A
II－２	成人教育の推進と人づくり・地域づくり	A
III－１	市民文化の振興と継承	A
III－２	文化財の保護・伝承と活用	A
IV－１	安全・安心な教育環境の整備	A
IV－２	教育施設・設備の充実	A
IV－３	子育て支援の推進	A
IV－４	子どもの貧困対策	A
IV－５	働き方改革の推進	A
V－１	地域のよさや伝統を生かしたふるさと教育の推進	A
V－２	学校・家庭・地域・諸機関・事業所などとの連携の推進	A
V－３	教育委員会の積極的な情報公開	A

評価４段階	A	達成	80%以上
	B	ほぼ達成	50～79%
	C	やや不十分	20～49%
	D	不十分	19%以下

基本目標　Ⅰ　乳幼児期からの子どもたちの知・徳・体を高く調和させる教育の推進						
【重点事項 1】確かな学力の育成		自己評価		評価委員の評価		
具 体 的 施 策	主 要 事 業 名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見		施策評価
(1) 学力の現状把握と指導の充実、土曜日等の効果的な活用		B B A	B	●全国・県学習状況調査において県平均以上の正答率の児童生徒が増えたということであれば、改善傾向にあるということで評価できる。引き続き結果の分析と取組の継続をしていただきたい。		A
①学習状況調査などの結果を分析し、指導方法の工夫・改善に努めるとともに、前年度正当率を上回るよう指導の充実を図ります。	・ 全国・県学習状況調査の正答率の向上 ・ 土曜日等の開校による授業日の確保			●県平均以上の正答率の増加で、保護者の関心も高まっているか。		
②土曜日等の効果的な活用を図ります。	・ 放課後等補充学習支援事業					
(2) 家庭学習習慣の定着		A	A	●「家庭学習の手引き」等で家庭学習について、細かく丁寧な対応が行われており、さらに今後も継続して取り組むことで、実質的な効果にもつながっていくと思われる。		A
①学年に応じた家庭学習目標時間を設け、家庭学習の習慣を身につけさせます。	・ 家庭学習目標時間の設定			●家庭学習習慣と保護者の理解が出てきたか。		
②スマイル学習（武雄式反転授業）の活用						
(3) 外国語教育の推進		A	A	●ALTの活用が積極的に行われている。さらに活用の内容にも研究を行い、生徒の学力向上につなげていただきたい。		
・ A L Tの活用、小学校での外国語活動などを推進します。	・ A L T活用による外国語活動及び英語科授業の補助			●外国語に触れることがまず大切ですが、習得の評価はどのようにされていますか。		
【重点事項 2】ICT活用教育・官民一体型学校づくりの推進		自己評価		評価委員の評価		
具 体 的 施 策	主 要 事 業 名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見		施策評価
(1) I C T機器を活用した教育の充実		A A	A	●電子黒板や学習用端末はよく活用されている。引き続き活用方法等研究を行いながら児童生徒の主体的・対話的で深い学びにつながるよう取り組んでほしい。		A
・ 電子黒板や学習用端末、学習支援システム等を活用した授業により学習意欲の向上と学力向上を目指します。	・ 電子黒板や学習用端末の活用促進 ・ デジタル教科書の利活用 ・ 「スマイル学習（武雄式反転授業）」の活用 ・ I C T教育推進員の配置（16名） ・ 学習支援システムの充実			●タブレットの活用に伴い、保護者の関心が深まったか ●ついていけない児童・生徒はいませんか。いる場合、その指導はどのようにされていますか。 ●市内の子どもたちにタブレットが行き渡り、1年生でも十分に使えるのは先生方のご指導の成果だと思います。これからの武雄市にとっても心強いことと思います。		
(2) 全小学校での花まる学習の推進		A	A	●実績数値の割合はかなり高く、素晴らしい。取組としては、コロナ禍の中でも工夫した取組が行われ、成果をあげているのではないかと。		A
・ 公立学校に「民」のノウハウや活力を融合させた新しい学校づくりで、21世紀を生き抜く力を育む教育を推進していきます。	・ 官民一体型学校の推進 ・ 花まる学習会からの講師派遣（2名常駐） ・ 地域支援員の充実（H31動員数：12,522人）			●花まる学習の効果はどういうものか。学校は積極的に取り組んでいるか。 ●10年間でもう一度見直しをしてほしい。学校現場の教師の意見をよく聞いてほしい。 ●この事業（花まるタイム）は、モーニングアップとして大変良いと考えます。 ●知人の方で花まるの丸付けにいかれてる方が、皆さんとても生き生きとされている姿に、子どもたちにとっても指導の方々にとっても相乗効果があり、核家族が多い今、とても良い事だと思います。 ●10年も続き素晴らしいことです。20年を目指してほしいです。 ●現場の先生方の意見も聞いて、しっかり分析してほしい。		

【重点事項 3】豊かな心の育成		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 道徳教育の充実					
・ 全学校において道徳の時間の充実に努め、保護者へ授業を公開します。	・ ふれあい道徳の実施（道徳の授業公開）	A	A	●目標数値の取り方が前年度と変更になった（保護者参加率から実施率へ）が、道徳授業の保護者への公開がほとんどの学校で行われていることは評価できる。	
(2) 不登校やいじめ、問題行動への対応と相談体制の充実					
①学校・家庭・地域等が連携して、「いじめ」「不登校」「問題行動」への早期対応や教育相談の充実に取り組み、未然防止に努めます。	・訪問相談員配置事業(3人配置) ・学校適応支援教室「スクラム」事業を利用した不登校対策の実施 ・いじめ対策基本方針に基づく「いじめ」の根絶			●前年度と比較して、小中学校の問題行動の件数が相当減っている。状況を聞いても児童生徒は落ち着いて学校生活を送っているということである。今後も、継続した指導を期待したい。	
②不登校児童生徒を減らすため、目標を設定し、関係機関が連携した取組みを進めます。		D		●不登校については、前年度より若干増えてるが、継続してきめ細かな対応がとられているようである。今後も引き続き関係機関やSC、SSWと連携して児童生徒に対応していただくことを期待したい。	
③法の整備に伴い、武雄市「いじめ対策条例」を作成し、いじめの根絶を図ります。		A	B	●いじめについて、積極的ないじめ認知の取組が行われたことはよいこと。解消についても丁寧に対応しているということで評価できる。学校は大変だと思うが、今後も、一つ一つ丁寧に対応していただくことを期待したい。	
		B		●不登校生徒の家庭環境の悪さがあると思う。この指導が必要ではないか。	
				●いじめ対策で担任の先生の関わり方がポイントになるのでは。	
				●家庭の問題は児童・生徒が被害者であり、それによる不登校が起きないように、勇気づけ見守ってほしい。	
				●今の武雄の中学生はとても落ち着いてよい子が多いと聞き、武雄を担う子どもたちのことを嬉しく思いました。	
				●スクールソーシャルワーカーの方も、色々と予算面で大変とは思いますが、状況に応じて増やされるとうよいと思います。	
				●不登校対策の充実を図ってほしい。その取り組みの充実のための予算措置も必要ではないか。	A
(3) 人権・同和教育の充実					
・人権・同和教育への理解を深めるため、積極的に校内外での研修に参加し、指導の充実に努めます。	・県、市が開催する研修会への積極的な参加 ・校内研修会の実施	A	A	●各学校で人権・同和教育に係る研修が行われている。引き続き研修の充実を図り、児童生徒への指導に活かしていただきたい。	
(4) 特別支援教育の推進					
・ 学校生活支援員を配置し、支援を必要とする児童生徒に対して、きめ細かな指導、支援を行います。	・ 学校生活支援員配置事業の実施	A	A	●支援を必要とする児童生徒への支援のための人員配置が行われており、教育委員会の取組として評価できる。現状の学校を考えたとき特に必要な施策である。	
				●支援が必要な生徒の親の支援に力を入れるべきと思う。	
(5) 読書活動の推進					
①読書ボランティアの活用を通して、読書の楽しさを伝えます。また、全校で読書活動を推進する取り組みを実施します。	・読書活動の推進 ・読み聞かせボランティアの活用	A		●実績数値の割合は前年度と同じである。武雄市図書館との連携などにおいて一定の工夫も必要だろう。	
②読書の楽しさと必要性を伝えながら読書意欲の向上を図ります。また、武雄市図書館との連携と活用を推進します。	・ 小中学校と武雄市図書館との連携	B	A		
【重点事項 4】たくましい身体の育成		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 基本的生活習慣の定着					
・ 保護者との連携・協力により、「早寝・早起き・朝ごはん運動」を推進し、基本的生活習慣を身に付け、食の質を向上させる取組みを進めます。	・ 早寝、早起き、朝ごはんの推進	A	A	●朝食摂取率は高い割合で推移している。地域の意識の高さを感じる。引き続き学校、家庭の連携のもと取り組んで行かれることを期待したい。	
(2) 健康教育の推進					
・ 性教育、防煙教育、がん教育、薬物乱用防止などの健康教育を保護者、地域と一体となって取り組みます。	・ 性に関する授業の実施 ・ 防煙教室の開催（小6、中1） ・ 各中学校でがんの教育講演会開催 ・ 薬物乱用防止教室授業の実施	A	A	●今後とも継続した取り組みを進めてほしい。	
(3) 食育の推進					
①学校給食の指導を充実させ、「食」の自己管理能力や望ましい食習慣の定着を目指し、食育の充実に積極的に取り組みます。	・ 「弁当の日」事業の推進 ・ 食に関する授業の実施 ・ 全小中学校での食育への積極的な取組み	A・B	A	●県産食材の利用率や小学校での取組など前年度より向上しており、よく努力されているのではないかと思います。	A
②「たけおの食の日」などを通じて、ふるさとの食材の素晴らしさを児童生徒に伝えます。学校給食での県産物の利用促進を図ります。	・ 学校給食での県産食材の利用			●県産食材の利用を考えると、給食費の無料化を進めるべきか。	
③自校方式学校給食の充実				●輸入食材もこれから高騰することが考えられる。	
(4) 体力・生涯体育の基礎づくり					
・ 体力テストの結果等を踏まえ、体力向上に努めます。	・ 体力テストの結果の分析と活用 ・ スポーツチャレンジの充実	A	A	●今後とも継続した取り組みを進めてほしい。	
				●スポーツ活動の推進が体力づくりになるのではないか。	

【重点事項 5】幼児教育の充実と 幼・保・小・中・高相互連携の推進		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 教育・保育の充実		A	A	●今後とも継続した取り組みを進めてほしい。	A
・乳幼児期の重要性や特性を踏まえ、発達に応じた質の高い教育・保育を提供します。	・保育所、幼稚園、認定こども園等へ教育・保育に係る経費の給付 ・障害児保育事業				
(2) 幼・保・小・中・高相互連携の推進		A B	B	●小中連携や幼保小連携はコロナ禍の中で難しい部分もあると思うが、できる範囲の中でよく取り組まれていると思う。 ●小中連携、幼保小連携の充実を図る。 ●手段が目的化しないように ●コロナ禍の中で難しい部分もあると思うが、できる範囲の中でよく取り組まれていると思う。 ●中高生との連携の充実が大切。	
・中学校による出前授業、小・中連絡会などを行い、小中の連携・強化に取り組みます。 また、高校生との連携を推進します	・小中連携教育活動の実施 ・高校生ふれあい事業				
・幼・保・小連携に関する具体策を年間計画に盛り込み、計画的に推進します。	・幼・保・小の連絡会、交流会の開催 ・幼・保・小相互での授業参観交流				
・園児と中学生・高校生の交流を行い、連携の強化に取り組みます。	・育ちあい講座	B			
【重点事項 6】教職員の資質や指導力の向上		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 教職員研修の実施		A	A	●教員研修について、実施方法等検討しながら取り組まれており、評価できる。 ●研修したものを児童生徒にどう伝えていくか。	A
・教職員の自主的研修の推進及び支援を行い教師の指導力向上に努めます。	・初任者研修等時期に応じた研修 ・武雄市教育研究会の推進				
(2) 服務規律の保持・徹底とメンタルヘルス対策の強化					
①教職員としての職務上、身分上の義務の遂行に努めます。	・交通事故・体罰等の信用失墜行為の防止	A	A	●今後とも継続した取り組みを進めてほしい。	
②勤務時間の適正化を図り、教職員のメンタルヘルスの対策強化を図ります。	・毎週1回の定時退勤日の実施による時間外自発的勤務時間の縮減	A			
(3) 教職員の意識改革の推進					
①人事評価制度を活用し、教職員一人ひとりの個性や特性を伸ばし、信頼される教職員の育成を目指します。	・校長による指導とヒアリングの実施による意識改革	A	A	●教職員の人事評価等よく取り組まれていると思う。今後とも教職員の意欲向上につながるような取組になることを期待したい。 ●校長が教職員からいかに信頼されているか。	
②教職員の情報教育に関する資質や指導力の向上に努めます。併せて、事務の共同実施を推進し、学校の活性化に努めます。	・学校運営支援室による帳簿指導・備品管理システムの実施	A			
【重点事項 7】多様化する社会の進展に対応した教育の推進		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) ユニバーサルデザイン教育の推進		A	A	●全学校でよく取り組まれており、今後とも継続した取組をすすめてほしい。	A
・学校教育の中で、ユニバーサルデザインをテーマとして、他者を思いやる心など豊かな人間性を育む取組を、関係機関と連携して行い、その理解と普及、実践化に努めます。	・UDやバリアフリー、多様な性に関わる授業・学校行事の実施				
(2) 環境に配慮した教育の推進		A	A	●SDGsにもつながる取組であり、児童生徒の意識を高めていくためにはよい取組になっていると思う。今後とも継続した取組をすすめてほしい。	
・節電、節水、リサイクルの周知や、学校内外の清掃作業等の取組を、関係機関と連携して行い、地球環境に配慮した指導・実践に努めます。	・環境教育の実施				
(3) 発達障がい児・者への支援		A	A	●学校と関係部署とをつないでいくためにも教育委員会の役割は大きいものがあり、連携しながら取り組まれている状況がうかがえる。 ●発達障がい児が多くなり、対処の仕方も多様になっている。	
・福祉と連携し、発達障がい児・者に対する支援を行います。	・発達障がい児支援室との連携強化				

基本目標 Ⅱ 市民一人ひとりの生きがいを高める生涯学習の推進

【重点事項 1】 明日を担う青少年教育の推進		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 青少年育成事業の推進					
①青少年育成市民会議（町民会議）活動の推進 ・武雄市青少年育成市民会議（町民会議）の活動を通して、学校・地域・家庭の連携強化を図り、地域で子どもを育む「たけおっ子“絆”プロジェクト！」を推進します。	・ながら防犯、青色防犯パトロール、長期休業中の巡視活動の実施 ・有害図書等自動販売機撤去運動の推進、地域環境点検、巡視活動の実施 ・「月に一度はファミリーデー」の啓発 ・親子で読める広報誌「雄翔」の発行	A		●いろいろな青少年育成事業に取り組まれており、学校、家庭、地域の連携がよくできている。今後も引き続き推進してほしい。	
②子どもクラブ活動の充実と指導者の育成 ・市子連、町子連の活動により、遊び活動や団体活動を通じた学びの場を創ります。	・市子連による交流事業の実施及び単位子どもクラブ活動の充実 ・市子連における研修会の実施 ・町子連における安全講習会の実施	A		●コロナ禍の中でも状況をみて子どもクラブ活動に取り組まれている。地域での子ども育成の機会になっていると思う。 ●市子連、町子連も大会については積極的に運営してもらいたい。 ●子供の数が減って、活動自体が難しくなっていく中、即見そのものを考えていく必要があるかと思う。	
③放課後子どもプラン推進事業の実施 ・地域社会の中で、子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進します。	・放課後児童クラブの実施 ・放課後子ども教室の実施	A	A	●様々なプログラムを取り入れ内容の充実に努力されている。 ●放課後児童クラブの方々の一人一人に沿ったご指導をよく耳にします。色々な子どもたちが来るので、対応は各自で大変だと思います。	A
④子ども、親子向けの防災教育 ・放課後児童クラブ、子育て支援センター事業、青少年教育団体等において防災講座を実施し、防災意識の向上に努めます。	・放課後児童クラブでの防災講座、非常食体験の実施 ・子育てサポーター養成講座に「防災」の内容を入れ、保護者や子育て支援者へ防災講座の実施 ・青少年講座や子どもクラブ活動での防災講座の実施	A		●コロナ禍の中でも工夫した取組が行われている。 ●地球温暖化に伴い、災害・防災教育も即したものを考える必要がある。	
		—			
		A		●防災意識を高めるために効果的な取組になっていると思う。	
(2) 体験学習の機会提供と支援					
①地域のリーダー育成 ・野外活動や体験活動の中で、集団での役割や協働意識を学び自発性のある心豊かな青少年育成に取り組み、地域のリーダーとしてのスキルを修得します。	・わんぱくスクールの開校 ・ジュニアリーダー育成研修会の実施 ・武雄市・雄武町児童交流団派遣事業の実施	A	A	●コロナ禍の中、取組を維持していくことは大変だと思うが、よく工夫して取り組まれていると思う。 ●リーダー育成にはリーダー格だけでなく、普通の子どもを多く参加させるべき。	
②ジュニアリーダーの活動機会の充実 ・ジュニアリーダーの活動の場を増やし、リーダーとしての意識を高めます。	・わんぱくスクールにおける児童の指導力の向上 ・市事業への参加や地域子どもクラブ活動への派遣	A		●コロナ禍の中、取組を維持していくことは大変だと思うが、よく工夫して取り組まれていると思う。 ●ジュニアリーダーだけでなく参加させ、その活動を経験、体験させることが必要ではないか。	
③青少年講座の充実 ・子どもたちの体験学習や地域活動を推進し、創造力の醸成、郷土を愛する心を育みます。	・発明クラブの実施 ・公民館における子ども対象講座の実施	A		●コロナ禍の中、取組を維持していくことは大変だと思うが、よく工夫して取り組まれていると思う。	
④野外体験学習の充実 ・野外活動を通じて自然とふれあい、自然の恵みを受恩を享受する場を提供することにより、青少年の健全育成及び市民の健康の増進を図ります。	・眉山キャンプ場の利用促進	B		●引き続き推進していただきたい。	A
⑤子どもの読書活動の推進 ・公民館において、武雄市図書館・こども図書館の巡回図書の活用や子育て支援センター、地域の読書ボランティアの方との連携により、子どもたちが本に親しみ、読書を楽しむ習慣を身に付けるための環境づくりを推進します。	・武雄市図書館の巡回図書の活用 ・読み聞かせの実施	A		●新規事業であり、武雄市図書館の利用促進にもつながる取組で、成果が出ている。継続して取り組んでいただきたい。	
(3) 青年期における学習・活動の機会拡充と支援					
①学習機会の提供 ・多くの仲間との絆づくりができる学習機会の場を提供します。	・青年層を対象とした学習講座の実施やサークル団体の育成	B	B	●工夫をしながら取り組まれている。引き続き推進していただきたい。	
②修学支援 ・経済的理由により大学等への修学が困難な者への支援を行います。	・奨学資金の貸与	A		●引き続き推進していただきたい。	

【重点事項 2】成人教育の推進と人づくり・地域づくり		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 学習機会の提供					
①生涯学習まちづくり出前講座の実施 ・市民のニーズや市の重点施策等によりメニューを見直し、身近で分りやすい充実した講座を提供します。	・メニューの充実	A	A	●コロナ禍等あって実績数値は前年度より下回っているが、件数も多くあり、引き続きメニューの充実など図りながら推進してほしい。	A
②公民館活動の充実 ・地域住民のニーズを反映した講座の開催や各町のまちづくり団体等の支援を行います。	・成人対象講座の充実 ・自治公民館、各種団体の支援	B		●実績数値は前年度より下回っているが、引き続き推進してほしい。	
③学習団体への支援 ・中央公民館サークルや各町のスポーツ、文化サークルへの活動場所の提供、活動発表の場を創出します。	・活動場所の提供及び発表の場の創出	A		●実績数値は前年度より下回っているが、引き続き推進してほしい。	
④高齢者の学びの場の確保 ・高齢者の学習機会の提供や支援を行います。	・武雄市民大学への支援 ・黒髪大学、延寿学級の実施	A		●実績数値では、ほぼ昨年並みであり、よく取り組まれている。	
(2) 地域連帯感の醸成					
①多世代交流の推進 ・地域行事への幅広い年代層の参加を勧め、心豊かな地域づくりを推進します。	・地域教育力活性化事業の実施 ・地域の特色を生かしたイベントの実施	B	A	●昨年実績と同じで、まず事業の実施ができたのが成果。引き続き推進していただきたい。 ●コロナ禍で出来る事を対策を取りながら行われていますが、やはり、一番は町民体育大会の開催だと思います。先々もコロナとの共生は避けられず、名称や開催方法を一新したやり方を考える必要があると思います。	
②多文化交流の促進 ・地域住民と外国人住民との相互理解を深め、多文化共生のまちづくりにつなげます。	・多文化共生事業の実施	—			
③防災教育による地域防災力の強化 ・まちづくり出前講座等を活用し、公民館事業、社会教育関係団体での防災意識の向上を図ります。	・出前講座における防災意識の向上 ・「防災」の視点を取り入れた事業、イベント等の実施	A		●昨年の実績を上回る実施で、関心も高いということで、引き続き推進していただきたい。	
(3) 人権尊重社会の形成					
①市民や企業・団体などを対象とした啓発活動の推進 ・人権問題学習会や出前講座等を開催し、市民一人ひとりが人権・同和問題についての正しい理解・認識を深め、差別のない明るく住みよい武雄市を築きます。	・人権問題学習会の開催 ・出前講座における人権啓発 ・ケーブルテレビ（市役所だより）番組での人権啓発の取り組み	B	B	●継続して人権啓発活動を推進していただきたい。	
②人権フェスタの開催 ・「考えよう 相手の気持ち」「育てよう 思いやりの心」を実践するために「人権フェスタ in たけお」を開催します。	・人権フェスタの開催（男女共同参画イベントと共催）	A		●継続して人権啓発活動を推進していただきたい。	
③学校教育における人権・同和教育との連携 ・市内小・中学生から人権標語を募集し、学期からの人権意識の醸成に努めます。	・人権標語の募集、表彰及び広報	A		●今後とも人権意識の向上・醸成に努めていただきたい。	
④学校教育における人権・同和教育との連携 ・市内小・中学生から人権標語を募集し、学期からの人権意識の醸成に努めます。	・人権標語の募集、表彰及び広報	A		●よく取り組まれており、今後とも人権意識の向上・醸成に努めていただきたい。	
(4) 図書館・歴史資料館サービスの充実					
①図書館・歴史資料館のサービスの向上 ・市民価値の高い図書館サービスの充実を図り、来館者、図書貸出等の増を目指します。 また、各種講演会をはじめ司書講座、古典講座、古文書講座等を実施し、その充実を図ります。 ・「こども図書館」では、絵本や遊びを通じた学びと交流の場づくりに努めます。	・各種講演、講座、イベント等の充実 ・県内公共図書館相互貸借システム、物流システム活用の推進 ・レファレンス業務の充実 ・子ども向け講座、読み聞かせ等の充実・親子の「学びの場づくり」	A	A	●武雄市の特色ある取り組みとして評価できる。今後も継続して推進していただきたい。	A
②図書館・歴史資料館企画展の充実 ・武雄の歴史・文化・伝統など、歴史的特性を紹介し、郷土武雄について再認識・再発見し、郷土への愛着を一層深めもらうために、企画展を開催します。 ・また、企画展資料を中心に、HPで紹介したり、ギャラリートークを開催するなど広報活動に努めます。	・企画展の開催 ・市報、ケーブルテレビ、図書館だより、HP、ポスター、パンフレット等による広報活動	A		●開催件数は前年度より増えている。今後も継続して推進していただきたい。	
③図書館・歴史資料館企画展の充実 ・武雄の歴史・文化・伝統など、歴史的特性を紹介し、郷土武雄について再認識・再発見し、郷土への愛着を一層深めもらうために、企画展を開催します。 ・また、企画展資料を中心に、HPで紹介したり、ギャラリートークを開催するなど広報活動に努めます。	・企画展の開催 ・市報、ケーブルテレビ、図書館だより、HP、ポスター、パンフレット等による広報活動	A		●開催件数は前年度より増えている。今後も武雄市の文化財の活用について継続して推進していただきたい。	
(5) 重要文化財等企画展の充実					
・国重要文化財の武雄鍋島家洋学関係資料を活用し、興味や理解を深めてもらう展示を計画します。	・武雄鍋島家洋学関係資料展示	A	A	●開催件数は前年度より増えている。今後も武雄市の文化財の活用について継続して推進していただきたい。	

基本目標 Ⅲ 明日につながる伝統文化の継承と多彩な文化の創造

【重点事項 1】市民文化の振興と継承		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 文化活動の育成・推進		A	A	●公募展の出品数は目標を大きく上回るもので成果がでている。また、武雄市の歴史等を紹介する副読本について、活用を促すための研修会の実施もよかったと考える。引き続き推進してほしい。 ●目標設定の見直しを。 ●基本目標Ⅲは、子どもたちのシビックプライド、武雄市の良さを知るのに大事な取り組みである。引き続き力を入れてほしい。	A
①武雄市文化連盟に属する各種文化団体の活動を支援し、文化会館・山内改善センター・北方公民館を主会場に文化祭や美術展覧会を開催します。	・たけお芸術祭の開催 ・公募美術展覧会の開催				
②こどもあーとDEスマイルオフィスを実施し、子どもの夢や個性・能力を知ってもらい、地域の方々に子どもたちと市民の交流を通じて、地域の活性化を図ります。	・こどもあーとギャラリー				
③H30に作成した副読本を活用し、児童生徒へ郷土の誇る歴史を紹介し、郷土を愛する心を育みます。	・副読本の活用	A			
(2) 芸術文化事業の充実		A	A	●コロナ禍や自然災害等の関係でできる範囲の中でよく取り組まれている。 ●コロナの中で、中止せざるを得ない事業も多く、事務局の方々の大変さもあり、頑張っておられると思います。 ●長崎OMURA合奏団のアウトリーチに本物の音楽楽器に触れる機会が子どもたちを育てていると思います。見た子どもたちは興味津々で大変喜ばれています。	A
①公募により図書館・歴史資料館の企画展示室を個人・団体に貸し出し、武雄の優れた文化活動を広く市民に紹介するよう努めます。	・公募展の募集				
②市民が参加・企画する、たけお音楽祭などを継続して支援します。	・たけお音楽祭				
③優秀映画・クラシックのコンサート等の優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供します。	・優秀映画鑑賞	A	A		
	・優れた芸術文化の鑑賞				
	・アウトリーチ事業				
(3) 文化のまちづくり構想の策定		A	A	●これからの武雄市にとって文化面での大事な基本計画が策定され、素晴らしい成果が得られたと思う。	
・文化会館及びその周辺エリアについて、期待される機能や方向性、地域文化との連携を検討し、文化のまちづくり構想を策定します。	・文化のまちづくり構想の策定				
【重点事項 2】文化財の保護・伝承と活用		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 国・県・市指定史跡等の環境維持と活用		A	A	●文化財の維持、保全によく取り組まれている。今後とも継続して進めていただきたい。	A
①国・県・市が指定する史跡・天然記念物の環境の維持・保全に努めます。	・文化財の保全体制 ・史跡等のパトロール				
②武雄鍋島家洋学関係資料を適正に保存・活用します。	・武雄鍋島家洋学関係資料保存事業 ・武雄鍋島家洋学関係資料保存活用計画策定事業				
(2) 史跡おつぼ山神龍石の整備		A	A	●今後とも継続して進めていただきたい。	
・史跡おつぼ山神龍石保存整備計画に沿って整備を進めます。	・史跡おつぼ山神龍石保存整備事業 ・整備検討委員会の開催				
(3) 無形民俗文化財の支援と発表会の場の充実		A	A	●伝統芸能保存のためには、必要な取組である。今後とも継続して進めていただきたい。	A
・国・県・市の補助金や各種財団の助成金制度について情報を提供し、保存会活動を支援します。また、武雄市伝統芸能保存連絡協議会を中心に、後継者育成を目的とした発表の場の提供を図ります。	・武雄市伝統芸能保存連絡協議会の開催・支援 ・武雄市伝統芸能まつりの開催・支援				
(4) 文化財資料の調査と保護		B	B	●文化財保護のためには必要な取り組みであり、今後とも継続して進めていただきたい。	
・本市に所在する重要な文化財を後世に伝えるため、物件の調査を行います。また、文化財保護審議会を定期的に開催し、本市の取り組み状況について説明、助言をもとめます。	・文化財保護審議会の開催				
(5) 開発と埋蔵文化財保護との調整		A	A	●今後とも継続して進めていただきたい。	
・土地の開発に関し、埋蔵文化財保護との調整・指導を行い、埋蔵文化財の保護に努めます。	・市内遺跡発掘調査事業				
(6) 出土遺物再整理事業への推進		A	A	●埋蔵文化財の整理と児童生徒にも体験させる取組は効果的な取組であると思う。継続して進めていただきたい。	
・過去に発掘調査を行い、出土した市内埋蔵文化財を再整理し、適正に保存・管理、活用できるようにします。	・市内出土遺物再整理事業				

基本目標 IV 豊かな学びを支える教育環境と子育て環境の整備

【重点事項 1】安全・安心な教育環境の整備		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 安全・安心な環境づくり		A A	A	●PTAや地域の協力を得た取り組みは大事であり、さらに充実していくことを期待したい。	
①PTA・育友会等と連携・協力して、不審者、声かけ事案等から子どもたちを守ります。	・各学校で地域や保護者と連携した定期的な見守り活動の実施 ・安全マップ、緊急時対応マニュアルの確認と見直し ・「こども110番のいえ」の周知				
②通学路の安全確保のため、学校・家庭・地域社会の協力体制のもと、日常点検等を行い、交通事故等の未然防止に努めます。	・年1回以上の通学路の安全点検 ・防災の視点からの点検（大雨、地震、ブロック塀等）				
(2) 安全教育の徹底		A A A A	A	●児童生徒の安全確保のためよく取り組まれており、意識を高めることにもつながっていると思う。引き続き取組を進めていただきたい。 ●気候変動に伴い災害が今以上になるものと考え、ワンランク上の防災教育をしていく必要が出てくる。	A
①「自分の身は自分で守る」意識の定着を目指し、防犯ブザーの所持徹底を図ります。	・防犯ブザーの携帯 ・防犯教室の開催				
②「全ヘル運動」を実施し、自転車に乗るときのヘルメット着用を推進します。	・「たけおっ子全ヘル運動」の推進 ・交通安全教室の開催				
③安全に関わる防災教育や訓練を行い児童生徒の危機回避能力を高めます。	・避難訓練等の計画的実施 ・市防災講座の活用				
④インターネットやスマートフォン等の利用に関するモラルの育成に積極的に取り組みます。また、関係機関、保護者と連携し、児童生徒に適正な利用の指導を行います。	・情報モラルに関する学習の実施				
【重点事項 2】教育施設・設備の充実		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 安全・安心な学校づくり		A A A	A	●学校施設の安全点検は、学校の危機管理にとって大変重要なことであり、しっかりした取組ができていると思われる。引き続き取組を進めていただきたい。	
①学校施設・設備の定期点検、日常点検で危険箇所や劣化の状況を調査し、安全・安心な学校施設・設備の維持管理に努めます。	・消防設備、電気設備、浄化槽の点検及び維持補修 ・営繕工事の実施				
②児童生徒が安心して学べる学校生活空間づくり、安心して遊べるための環境整備に努めます。また、誰もが利用しやすいよう、バリアフリーなどにも配慮した施設づくりに努めます。	・各種施設の保守点検 ・バリアフリー等、施設の点検				
(2) 安心して学べる快適な社会教育施設づくり		A A A	A	●社会教育施設の安全点検についても、しっかりした取組ができている。引き続き取組を進めていただきたい。 ●可能な範囲で、比較検討結果を教えてください。	A
①社会教育施設の定期検査や日常的な点検調査を行い、安全で快適な施設の維持管理に努めます。	・定期環境検査の実施				
②公民館は、地域の学習拠点として、誰もが利用しやすいようバリアフリーにも配慮した施設づくりに努めます。また、災害時には、避難所として利用できるよう機能強化に努めます。	・朝日公民館建設事業 ・北方公民館改修事業				
③文化会館は施設の劣化診断などの基礎調査を行います。	・文化会館基礎調査				
(3) アセットマネジメントの推進		A	A	●着実に計画推進ができている。	
・学校施設、放課後児童クラブ施設や社会教育施設について、アセットマネジメントによる個別施設整備計画を推進します。	・アセットマネジメント個別計画の推進				
(4) ICT機器等の教育環境の整備・充実		A	A	●計画通りの整備、更新ができている。	
	・電子黒板や学習用端末、学習支援システム等の整備・更新を適宜実施します。				
【重点事項 3】子育て支援の推進		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 子ども・子育て支援事業の充実		A	A	●子育て支援について、充実した取組が行われており、今後も推進していただきたい。 ●若い世代に安心して子育てができる市であることをアピールする必要があると思う。	
・すべての家庭が安心して子育てができるよう、様々な社会環境の変化に対応した子育て支援を充実します。	・利用者支援事業（基本型） ・延長保育事業 ・一時預かり事業 ・ファミリーサポートセンター事業 ・病児・病後児保育事業（（4）に再掲）				
(2) 乳幼児期からの地域との絆づくり		B A B		●コロナ禍の中、工夫しながら事業が行われており、評価できる。引き続き子育て支援の充実に努めてほしい。 ●コロナ禍の中、感染対策に配慮しながら事業が行われている。引き続き子育て支援の充実に努めてほしい。 ●コロナ禍の中、工夫しながら取り組まれている。引き続き継続して取組を進めてほしい。	A
①保護者の学習機会の充実	・赤ちゃんひろば ・親子リフレッシュタイムの開催 ・マタニティヨガ&胎教バスTELアート ・子育て講演会				
・家庭での教育力向上のため保護者のニーズにあった支援をします。	・子育てサポーター等養成講座 ・子育てサポーター定例研修、ファミリーサポーター研修 ・抱っこボランティア研修 ・保育者のためのスキルアップセミナー ・放課後児童クラブ支援員・補助員研修				
②子育て支援者の質の向上	・子どもの健やかな発達を支援するため支援者の質の向上や、保護者支援について研修します。				
③地域の子育て支援の充実	・子育て支援者交流会の実施、地域の子育て親子の交流・支援、情報提供をします。 ・公民館におけるひろばやミニイベントを通じ、親子が地域に触れる機会を増やし、郷土愛を育む心の育成を図ります。				
④ブックスタート(おひぎでよんで!)事業の推進	・乳児(4ヶ月児)を対象に、絵本を通して親子の心の交流を深め、心安らぐ時間を共有してもらうよう支援します。 ・ボランティア、市関係部局と連携し、子育て支援を充実します。	A		●工夫して取り組まれており、今後とも推進していただきたい。	
	・毎月、こども図書館で読み聞かせ、絵本のプレゼントを実施。 ・保健師、保育士等の出張相談窓口を設置。				

(3) 保育環境の充実		A	A	●保育士の確保に力を入れている点にまず評価できる。今後とも推進していただきたい。
・市内における保育・教育施設の質の向上と多様化する保育ニーズに対応します。	・保育士等就職支援補助 ・合同求人説明会 ・各施設に講師を派遣し研修会を実施			
(4) 病児・病後児保育の充実		B	B	●子育て支援の観点から高く評価できる取り組みである。広報にも力を入れてあり、今後も推進していただきたい。
・病児・病後児保育施設の利用促進を図り、就労等でお困りの保護者の負担を減らします。	・病児・病後児施設の周知、利便性の向上			
(5) 総合的放課後対策の推進		A	A	●働く親世帯にとっては、大事な施策であり、よく取り組まれているが、支援員の確保等今後さらに期待したい。 ●放課後児童クラブ、放課後子ども教室のさらなる充実が必要になってくる。
①放課後児童対策の推進 ②全ての就学児童が放課後等を安全安心に過ごし、多様な体験・活動を行えるよう進めます。	・放課後児童クラブの実施 ・放課後子ども教室の実施 1) 一体型放課後児童クラブ・子ども教室の実施 2) 連携型放課後児童クラブ・子ども教室の実施			
(6) 子育て世代包括支援センター事業との連携		A	A	●子育て支援の取り組みとして評価できる内容で、引き続き切れ目のない支援に取り組んでほしい。
・子育て世代包括支援センターを、健康課と子育て総合支援センターに設置し、妊娠期から関係機関との連携を図りながら切れ目のない支援を実施します。	・利用者支援事業（母子保健型）			

【重点事項 4】子どもの貧困対策		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 子どもの未来応援計画の推進		—	—	●子どもの貧困対策としていろいろな取組が行われている。教育委員会としていろいろな手立ての周知と関係機関との連携を図り、引き続き取組の充実を図ってほしい。 ●モノ・カネの支援に加えて、精神的に強くなり、勇気づけられるような策も大切であると思う。	A
・2期計画を策定し、次世代を担う子どもたちが、環境に左右されることなく、教育機会の均等を図るため、実態把握と必要に応じた対策を推進します。	・子どもの未来応援計画の推進				
(2) 伴走型支援の充実		A	A	●伴走型支援として、評価できる取組である。引き続き取組の充実を図ってほしい事業である。	
・子どもの成長段階に合わせ、妊娠・出産期から小学校期など、早い段階から長期的・継続的な支援を行うことにより、子どもの貧困の解決と予防を推進します。	・こどもの笑顔コーディネーターによる伴走型支援				
(3) 就学支援の推進		A	A	●引き続き取組を進めてほしい。	
・就学前早期に、経済的に厳しい家庭に対し、就学支援相談や就学支援制度の周知を図ります。	・就学支援相談 ・就学支援制度の周知				

【重点事項 5】働き方改革の推進		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) キッズウィークの推進		B	B	●保護者への周知は浸透しつつあるということで、引き続き取り組みの充実を期待したい。 ●目標設定の見直しを。	A
・「働き方改革」による「キッズウィーク」の推進に向け、市長部局と連携して取り組みます。	・キッズウィークの推進				
(2) 学校現場の業務改善計画の推進		A	A	●時間外勤務縮減の推進が図られている。引き続き業務改善や教員の意識改革も含めて進めてほしい。 ●部活動の在り方がどう変わるのか、部活動をどうとらえるか、が先生方の業務改善につながると思う。 ●時間外勤務は上司の命令ですか、それとも、個人の申請ですか。業務のIT化を進め、働き方改革を進める上でも、形は業務命令であるべきと考えます。	
①教職員の時間外勤務の縮減を実現するため、「学校における業務改善計画」を推進します。	・学校における業務改善計画の推進（教職員の勤務時間の把握・分析） ・部活動基本方針の徹底				
②教育課程の編成を工夫し、教職員が子どもとふれあい、じっくり向き合う時間を確保するよう努めます。	・カリキュラム・マネジメントによる余剰時間の活用と会議時間・回数の縮減、平日の5時間授業日の実施による子どもと向き合う時間の確保				

基本目標 V 郷土愛の醸成と協働する市民総参加による教育の推進

【重点事項 1】地域のよさや伝統を生かしたふるさと教育の推進		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 地域を生かした教育活動の推進					
①たけお教育の日 ※学校・家庭・地域の連携・協力のもと、地域の宝である「たけおっ子」とともに市民一人ひとりが学び合い、支え合い、高め合い、温かくたくましい教育のあり方を考える日 ・子どもたちが、生まれ育った武雄市の歴史や文化を学び郷土を愛する心を醸成するとともに、子どもたちがともに、学んだこと、感じたことなどの発表の場を創り、将来への希望や目標を持ち、達成しようとする心を育むことができるよう取り組みます。 ②地域の「人」「もの」を教育活動で積極的に活用します。	・たけお教育の日イベントの開催 （内容）たけおっ子の主張、活動発表のほか、教育委員会各課、庁内関係部署における子ども関連事業。	A	A	●今後とも継続して進めていただきたい。 ●今後とも継続して進めていただきたい。 ●今後とも継続して進めていただきたい。	A
	・地域教材等の授業での活用 ・特別非常勤講師制度の活用	A		●今後とも継続して進めていただきたい。	
		A	A	●全小中学校が何らかの形で地域の活動に参加しており、大変素晴らしいと思う。引き続き推進してほしい。	
(2) 地域に根ざした学校運営の推進		A	A		
・地域行事への児童生徒の参加を積極的に推進し、郷土を愛する心の育成を図ります。 ・地域行事への参加推奨					
(3) 地域文化の継承と文化財保護意識の高揚					
①史跡や伝統文化等が市民にとって身近な学習教材となるよう、出前講座等で機会を提供します。また、文化財への理解を深めてもらうため、老朽化した標柱について修理、更新を進めます。 ②文化財防火デー・火災防衛訓練に協力し、貴重な文化財を保護する精神を育むよう努めます。 ③武雄らしい風土（歴史的環境）を守り、市民自らが文化財に対する理解を深める文化財保護思想の醸成・高揚及び郷土を愛する心の育成を図ります。	・出前講座、出前授業の開催 ・市重要文化財等説明板等修理	A	A	●今後とも継続して進めていただきたい。 ●まずは武雄のことを知る事が大切。各事業について継続して進めてほしい。	A
	・文化財防火デー・火災防衛訓練	—	A	●内容変更も必要ということだが、今後とも継続して進めていただきたい。	
	・社会科副読本「わたしたちの武雄市」の配布 ・武雄の歴史副読本「すごいぞ武雄」の活用	A		●今後とも継続して進めていただきたい。	
(4) 教育と産業が連動した施策の推進					
①「教育と産業」を繋ぐ施策として「定住支援」を目的とした奨学金返還補助事業を行います。 ②たけおの良さを生かしたUターンによる定住促進 ・成人式において「たけおの良さ」をPRすることで郷土愛を引き出し、Uターンによる定住促進を推進します。	・武雄市若者定住促進奨学金返還補助事業	B	B	●定住促進のための特色ある取り組みであると思う。引き続き検討を重ね良い施策になることを期待したい。 ●今後とも継続して進めていただきたい。 ●武雄市へのUターン者の増に関しては、成人式の時に良さをPRするだけではなく、子どもの時から武雄への愛着心を持つことが大切だと思います。主要事業にもう少し、工夫を入れていただきたい。	
	・武雄市若者定住促進奨学金返還補助事業	B	B		

【重点事項 2】学校・家庭・地域・諸機関・事業所などとの連携の推進		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 学校教育活動の公開					
①「学校運営協議会」「学校関係者評価」を活用し、学校教育活動を積極的に公開します。 ②学校リーフレットや学校ホームページ等で児童生徒の様子を保護者や地域に積極的に公開します。	・学校運営協議会等の開催 ・学校のホームページの活用、更新	A	A	●学校の情報発信は大切なことであり、市内の全小中学校はよく取り組まれていると思う。	A
(2) 地域学校協働本部との連携					
・地域、関係機関との連携を深め、地域協働本部を中心に、学校を核とした地域との協働活動に取り組む。	・地域学校協働本部事業	B	B	●今後とも継続して進めていただきたい。	
(3) コミュニティ・スクールの推進					
・学校・地域・保護者が一体となった学校運営協議会の運営を、より強固な体制に構築します。	・コミュニティ・スクール推進事業	B	B	●今後とも継続して進めていただきたい。	A
(4) キャリア教育の推進					
①市内外の企業・事業所等や市民の協力を得ながら、職場体験学習、起業家教育を充実させます。 ②武雄の先輩の力を教育活動に活かします。	・職場体験の実施（地元事業所を中心に職場体験）	A	A	●キャリア教育に地域が関わることは大切なことであり、引き続き工夫した取組によって充実したものにしてほしい。 ●職場体験は自分で企業を見つけ、体験させることが大切。ぜひ実施してほしい。	

【重点事項 3】教育委員会の積極的な情報公開		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 教育委員会の会議の公開					
・教育委員会会議の開催日程などを広報し、会議への傍聴を積極的に働きかけ、会議録の公表に努めます。	・会議開催のお知らせ ・会議録の公表	A	A	●今後とも積極的な情報公開に努めていただきたい。	A
(2) 公民館活動の積極的な公開					
①公民館事業等の情報発信 ・中央公民館、各町公民館から、より地域に密着した行事、話題や出来事などを、公民館だよりやホームページなどで積極的に公開します。	・公民館だよりの発行 ・公民館のブログの更新 ・市報、市ホームページ等の活用	A	A	●今後とも積極的な情報発信を進めてほしい。	
(3) 教育委員会の点検評価					
・教育委員会での自己点検・自己評価を行い、外部の有識者で構成する評価委員会の意見を添えた「武雄市教育委員会点検評価報告書」を市議会へ提出するとともに、ホームページで公表します。	・評価委員会の開催 ・評価報告書の議会提出 ・評価報告書の公表	A	A	●今後とも積極的な情報公開に努めていただきたい。	